

水道の防災対策

令和7年度 地域防災指導員養成講習会

令和7年8月30日(土)・藤枝市役所大会議室

環境水道部上水道課

■昭和37年 計画給水人口4万人で給水を開始
(茶町水源地:現水道事務所)



■4回の拡張事業認可を受け、給水区域を拡大



■令和6年度末	給水区域内の人口	135,390人
	現在の給水人口	127,635人
	水道普及率	94.3%

ふじえだし すいどう し せつ い ち す 藤枝市水道施設位置図

位置	施設名	施設名称
1	上大沢配水場	上大沢配水場
2	下大沢ポンプ場	下大沢ポンプ場
3	西北配水場	西北配水場
4	西北ポンプ場	西北ポンプ場
5	花巻ポンプ場	花巻ポンプ場
6	時ヶ谷配水場	時ヶ谷配水場
7	泉岩寺配水場	泉岩寺配水場
8	志太配水場	志太配水場
9	茶町水源地(水道庁舎)	茶町水源地(水道庁舎)
10	内瀬戸第2配水場	内瀬戸第2配水場
11	内瀬戸第1配水場	内瀬戸第1配水場
12	青南町送水場	青南町送水場
13	泉町配水場	泉町配水場
14	内瀬戸第3配水場	内瀬戸第3配水場
15	大井川広域水道左岸第1調整池	大井川広域水道左岸第1調整池
16	岡部台ポンプ場	岡部台ポンプ場
17	岡部配水場	岡部配水場
18	岡部送水場	岡部送水場
19	村良送水場	村良送水場
20	子持坂配水場	子持坂配水場
21	三輪配水場	三輪配水場
22	旭沢配水場	旭沢配水場
23	桂島配水場	桂島配水場
24	殿西ノ平配水場	殿西ノ平配水場
25	朝比奈中央配水場	朝比奈中央配水場
26	青羽根配水場	青羽根配水場
27	蔵田配水場	蔵田配水場

給水区域	系統名
茶町系統	茶町系統
泉町東系統	泉町東系統
泉町西系統	泉町西系統
内瀬戸第1系統	内瀬戸第1系統
内瀬戸第2系統	内瀬戸第2系統
時ヶ谷系統	時ヶ谷系統
子持坂系統	子持坂系統
岡部系統	岡部系統
三輪系統	三輪系統
蔵田系統	蔵田系統
旭沢系統	旭沢系統
桂島系統	桂島系統
殿西ノ平系統	殿西ノ平系統
朝比奈中央系統	朝比奈中央系統
青羽根系統	青羽根系統

藤枝市環境水道部
藤枝市茶町二丁目6番15号
上水道課 ☎ 646-4115
FAX 646-4113



上水道の状況(令和7年3月末現在)

①上水道の水源能力

1日当たり最大	73,650m ³
うち自己水源	57,850m ³
大井川広域水道受水	15,800m ³

②令和6年度の平均給水量

1日当たり平均	46,452m ³
うち自己水源	33,075m ³
大井川広域水道受水	13,377m ³

③上水道の取水・送水及び配水箇所

●取水施設

自己水源	藤枝地区21本(茶町1、泉町14、青南町6)
	岡部地区2本(村良1、岡部1)
山間地地区	6箇所(廻沢1、桂島1、殿西ノ平1、朝比奈中央1、青羽根1、蔵田1)
大井川広域水道受水	島田市相賀浄水場より

●送水及び配水施設

送水場 8ヶ所

配水場 18ヶ所

水道水の流れ

青南町送水場



内瀬戸第1配水場



滅菌(塩素)
消毒を行う

井戸



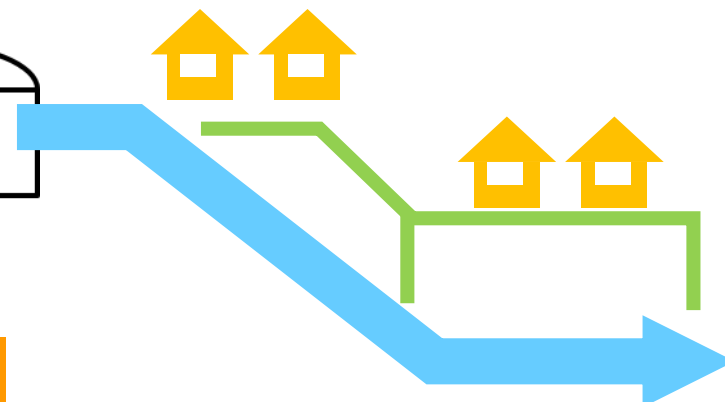
導水管

送水場



送水管

配水場

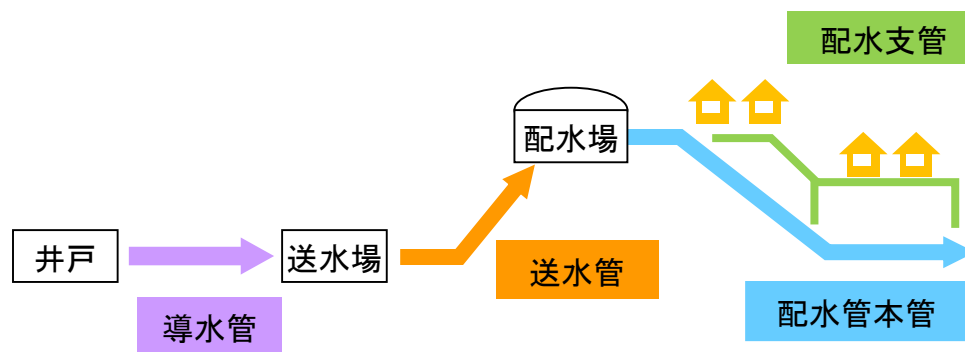
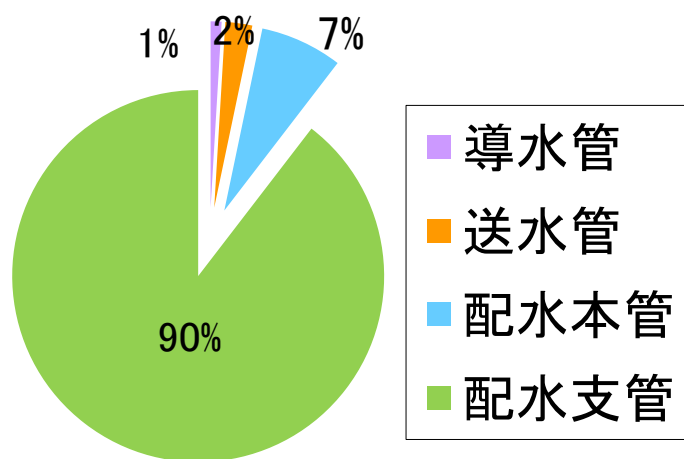


配水支管

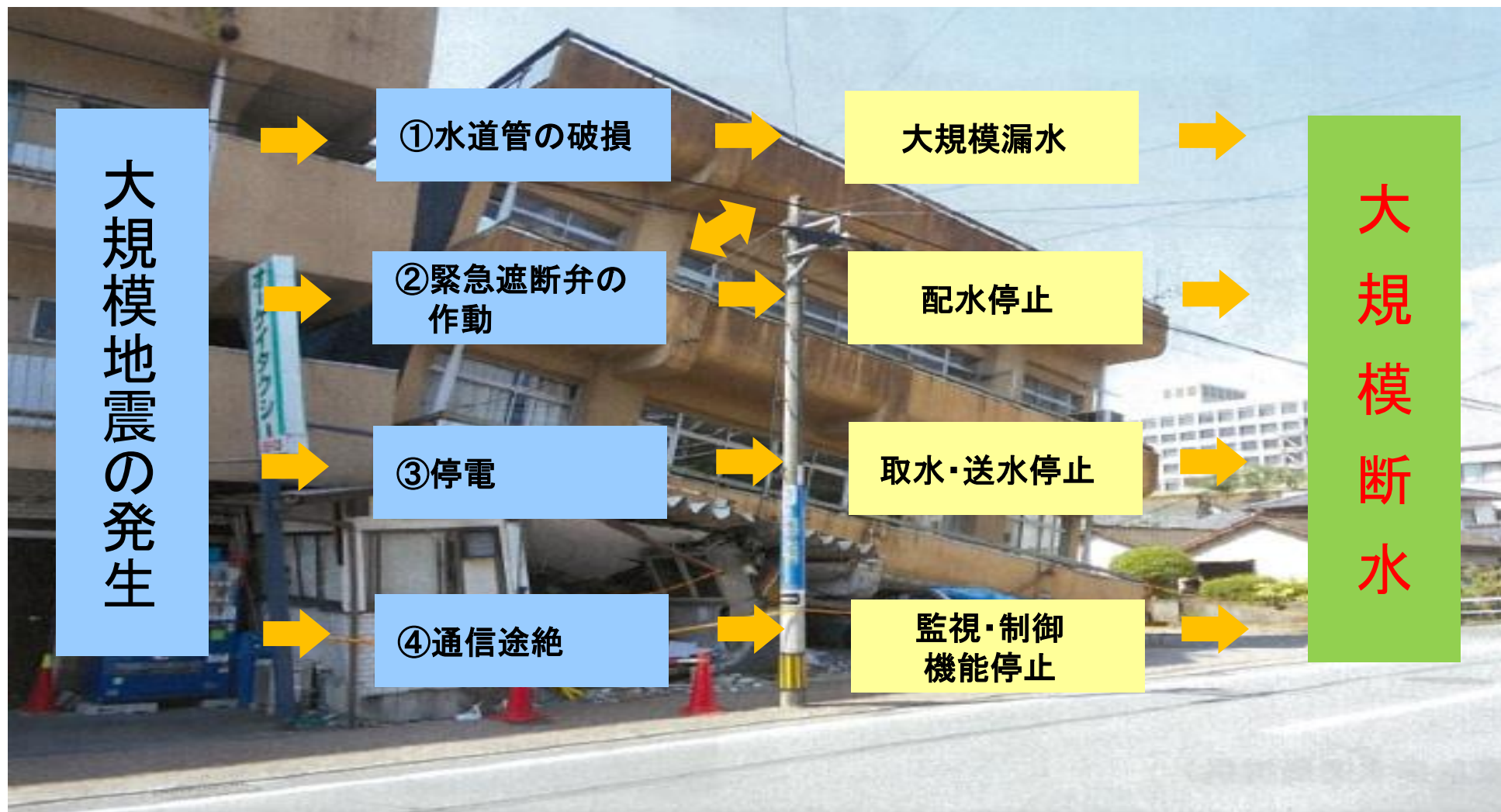
配水管本管

管路の布設状況(令和6年度末)

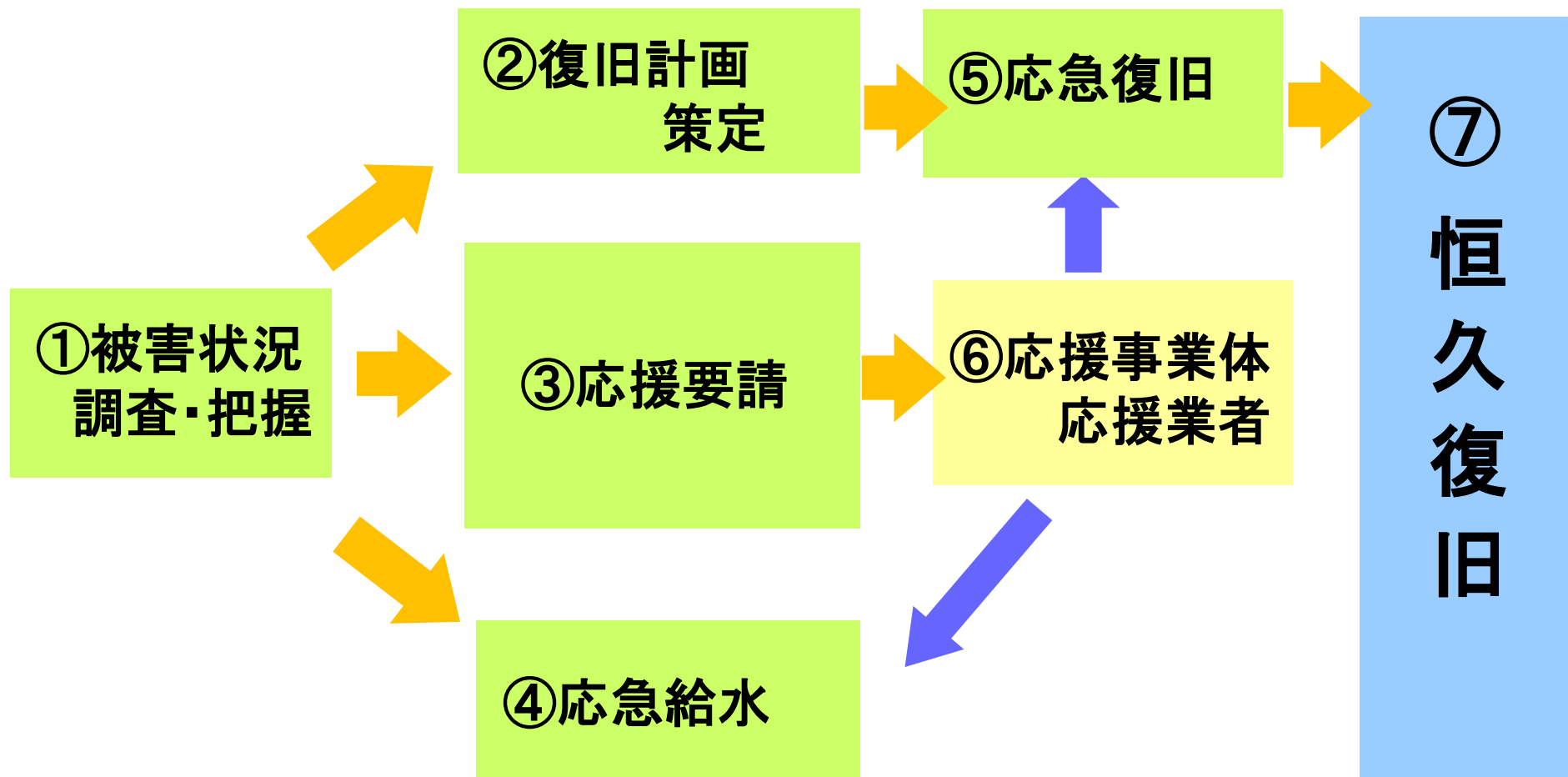
用途	管延長(m)	内訳	
基幹管路	94,397	導水管	8,566
		送水管	21,142
		配水管本管	64,689
配水支管等	810,076		
総管路延長(計)	904,473		



予想される被災状況



地震発生後の対応 ～応急給水と応急復旧～



被災時の応援要請

	要請先	内容
1	静岡県	被害報告・応援要請
2	日本水道協会	被害報告・応援要請 ※長野市(代理)
3	市内水道業者	作業員、車両、復旧用資材の提供

※日本水道協会：

昭和7年に設立された公益社団法人。水道の普及とその健全な発達を図るための諸事業を行う組織。全国の水道事業者が加盟。

東日本大震災での応急給水活動



宮城県七ヶ浜町での応急給水活動
(平成23年3月19日)

配水池から給水車に水を補給

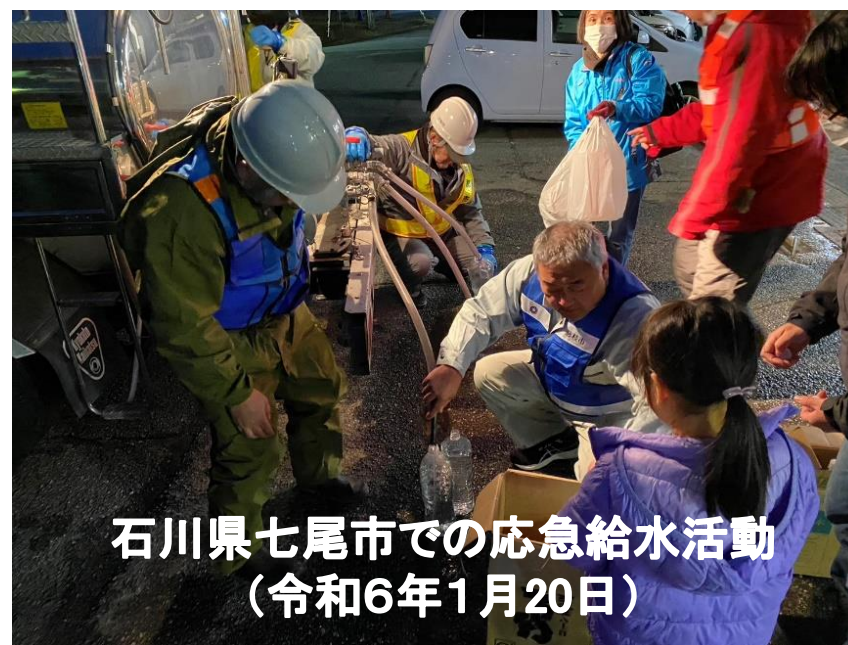


能登半島地震での応急給水活動

令和6年1月14日～2月28日 石川県七尾市
3月27日～3月29日 石川県珠洲市

計7回

応急給水活動の実施



災害発生時の応急給水

応急給水の期間と水量(藤枝市地域防災計画)

期 間	一人当たり 水量 (リットル/日)	水量用途内訳	給水方法
【第1次給水】 地震発生～3日	3	生命維持のための必要最小限の量	・災害時に拠点となる医療施設、透析病院など命に係る施設への給水 ・自己貯水の活用 ・指定避難所の受水槽への給水
【第2次給水】 4日～7日	3～20	調理・洗面等の最低生活に必要な量	・応援体制を確立し、給水拠点の拡大 ・運搬給水の増加 ・幹線復旧による給水拠点への給水
【第3次給水】 8日～1ヶ月	20～ 100	最低の入浴・洗濯に必要な量	・支管復旧による仮設給水の拡大 ・運搬給水の縮小
【第4次給水】 1ヶ月～完全復旧	100～ 被災前水量	通常給水とほぼ同量	・管路復旧の進展による各戸給水 ・一部の復旧困難地域を除き、 応急給水の終息

防災指導員さんへのお願い

■ 自己貯水の重要性を周知

- ・1週間分の水の用意 $1人 \times 3\text{リットル} \times 7\text{日間} = 21\text{リットル}$
- ・水を入れる容器の用意

■ 情報伝達のサポート

- ・指定避難所の受水槽に給水されることを地域で共有
地震発生時から数日は、災害の拠点になる医療施設が優先。
指定避難所(小学校・中学校等)はその後になること。
- ・高齢者や障がいがある方への情報提供

■ 給水のサポート

- ・簡易水槽の組立
- ・誘導係
- ・給水袋配布
- ・簡易給水車の運転



応急給水資機材について



- ・給水車(2m³) 右側 1台
- ・給水車(3.8m³) 左側 1台



- ・給水袋(6ℓ)
20,000枚



- ・ウォーターパッカー 1台
(連続自動飲料水袋詰機)



- ・車載型アルミタンク(1m³) 23基
- ・飲料水用簡易水槽(1m³) 45基



災害発生時の応急給水

～必要水量～

3. 世帯数と人口

(R7.3.31現在)

区分	自治会・町内会		世帯数 (戸)	人口 (人)	必要水量 (m ³)	
					第1次	第2次
	稲葉第1	谷稲葉/堀之内	678	1,593	15	128
	葉梨第1	西方/北方/白藤	693	1,575	15	126
	葉梨第2	中ノ合/花倉/上川/横見/中田	728	1,706	16	137
	葉梨第3	上藪田/下藪田/高田/ サニーヒルズ [※] /清里 1～2丁目/南清里	2,477	6,089	55	488

合 計			62,002	139,290	1,284	11,171
-----	--	--	--------	---------	-------	--------

約12,500m³

■必要水量

第1次 地震発生～3日目 人口×3ℓ×3日

第2次 4日目 ～7日目 人口×20ℓ×4日

出典: 藤枝市震災時給水対策要綱

災害発生時の応急給水

～配水場の貯水量～

別表10

応急給水水源一覧

出典：藤枝市震災時給水対策要綱

※貯水量は有効容量の50%とする

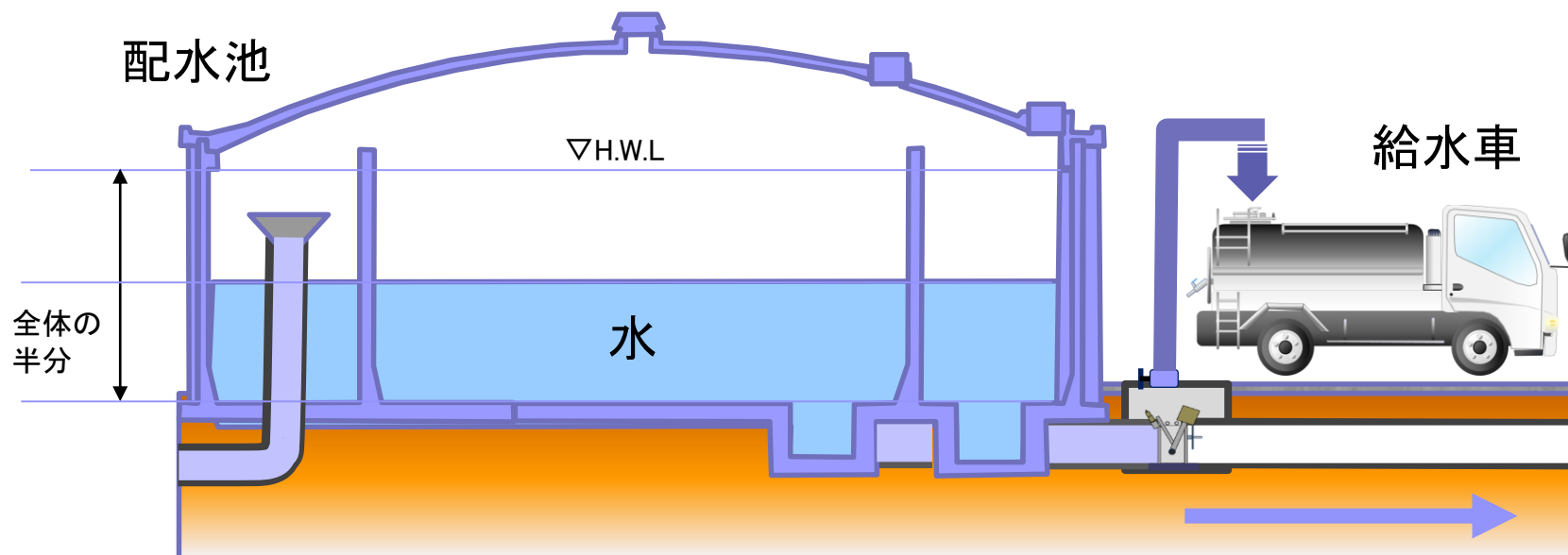
	施設名称		緊急遮断弁の有無	耐震構造	貯水量(m³)	備考		
						構造	有効容量(m³)	その他
水源地	1	茶町水源地		○	100	RC造	200	1基
		計			100			
送水場	1	青南町送水場		○	250	RC造	500	1基
	2	西北送水場		○	100	RC造	200	1基
	3	岡部送水場		○				
	4	村良送水場		○	63	RC造	126	1基
		計			413			
	1	鬼岩寺配水場	有	○	1,000	PC造	2,000	1基
	2	内瀬戸第1配水場	有	○	6,500	PC造	5,000	1基
				○		PC造	8,000	1基

使用可能貯水量(緊急遮断弁有)					20,800 m³			
-----------------	--	--	--	--	-----------	--	--	--

災害発生時の応急給水

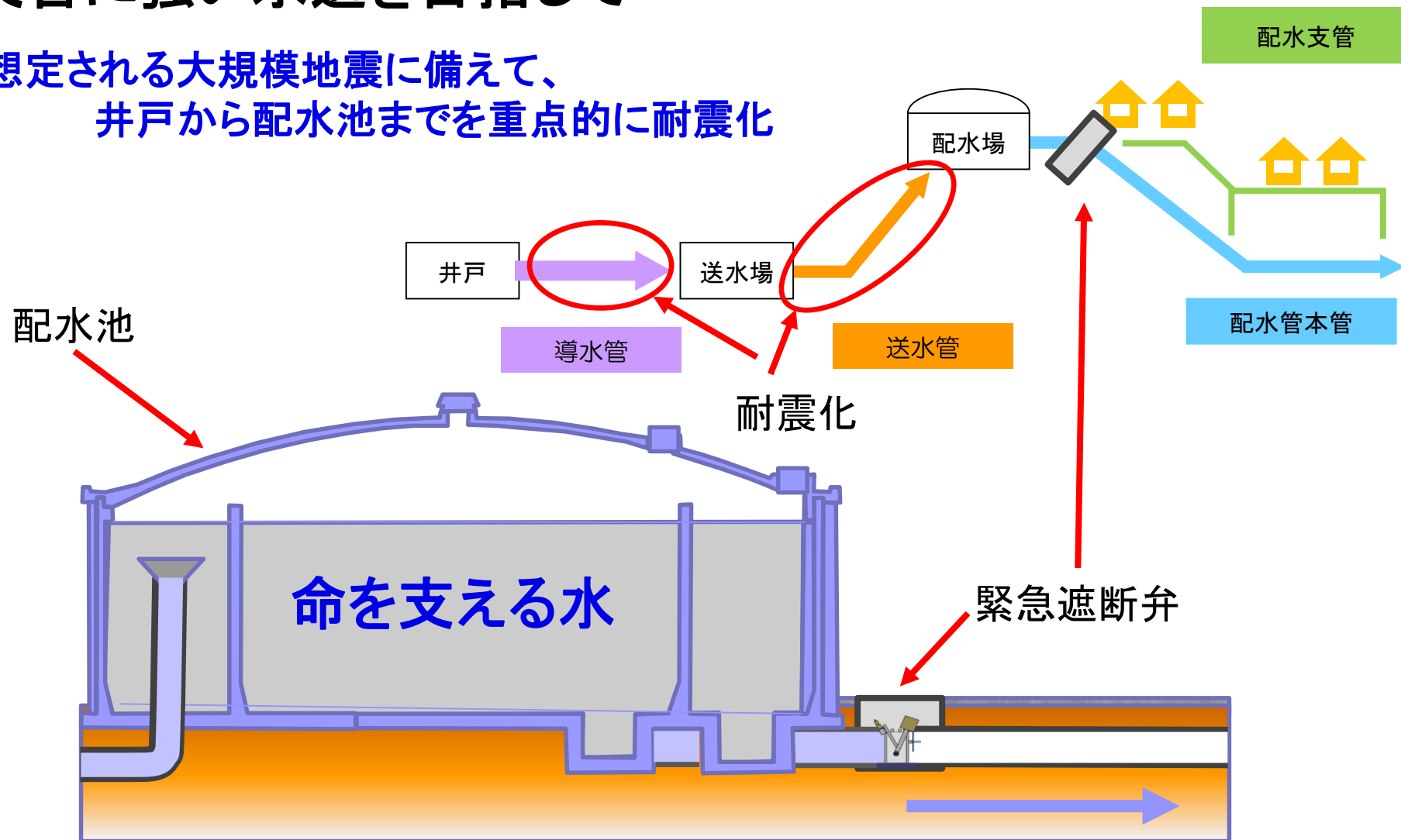
～水は確保できている～

	期 間	必要水量	使用可能貯水量
第1次給水	地震発生から3日目まで	1, 284・	
第2次給水	4日目から7日目まで	11, 171・	
合計		約12,500m ³	< 20,800m ³



災害に強い水道を目指して

想定される大規模地震に備えて、
井戸から配水池までを重点的に耐震化

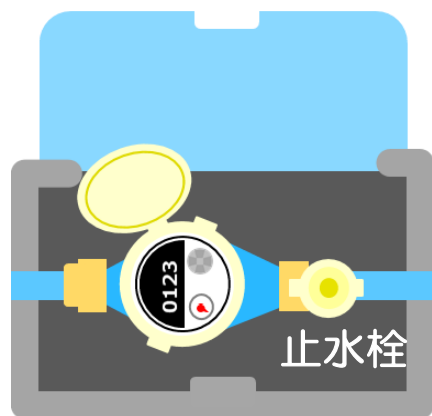


皆さんができる防災対策 ～南海トラフ地震に関する情報が発表された場合～

ポリタンク等や浴槽への緊急貯水

風呂の残り湯は溜めておく

消火やトイレの流し水に再利用



水道の蛇口、止水栓は閉める

避難する場合は、慌てずに火の始末と同時に
蛇口とメーターボックス内の止水栓も確認

※蛇口が開いたままになっていると、水道が復旧時に家中が水浸しの可能性も!?

まとめ

1. 地震発生から最低3日間(最大7日間)は
自己貯水が重要
2. 配水場には、市民全体の7日間の必要水量は確保
3. 今回の講習内容の「情報発信」

大規模災害等で断水が発生した場合、水道事務所の職員だけでなく他機関や自主防災会にも応援を要請し、給水活動を実施することが想定されます。

皆様にも常日ごろからの「飲料水の備蓄」をお願いすると共に給水活動にご理解をいただき、「命を守る水」が市民の皆様に早急に届きますようご協力をお願いします。

よくある質問(1)

①自己貯水3リットルは、何に使う量ですか？

2リットルは飲料水、1リットルは手洗いうがい・洗顔を想定しています。

②給水車は3.8トン1台、2.0トン1台で足りますか？

給水車の台数が多ければ良いですが、あくまで緊急時用の車両です。

使用頻度、維持管理費を考慮すると増台は難しい状況です。

災害時は、簡易水槽やアルミタンクをトラックに積載した仮設給水車や、全国への応援要請により対応します。

③水道水をペットボトルに入れて、どのくらい日持ちしますか？

水道水の消毒効果は3日程度です。長持ちさせる場合は、密封容器に入れ、冷暗所での保存をおすすめします。

保存状況により、効果が異なりますので、一番安心なのは1日以内です。

よくある質問(2)

④ペットボトルの「藤枝の水」の中身は水道水ですか？

青南町の井戸から取水した水に変わりはありませんが、塩素が含まれていない天然のナチュラルミネラルウォーターです。加熱滅菌処理を行っています。

⑤地震で地下水が濁った場合の対策は？

上水道は、地下水と大井川広域水道企業団からの表流水で賄っていますので、すべての井戸が濁った場合は、大井川企業団からの受水で対応します。井戸の濁りは通常3週間程度が想定されるため、濁りが解消次第、井戸水の利用を再開します。

⑥水道普及率は100%になりますか？

給水可能な区域(認可区域)の普及率になります。その区域内にお住まいで、ご自身の家庭用井戸を使用している方もいるので、100%にはなりません。



ボトルウォーター「藤枝の水」

4年連続モンドセレクション「最高金賞」受賞

【品 名】 ナチュラルミネラルウォーター 500ml

【賞味期限】 製造日から2年間

【製造本数】 48,000本

【販売場所】

（行政施設）水道事務所・市役所・文化センター・岡部支所 1本税込70円

（委託販売）観光案内所・瀬戸谷温泉ゆらく ほか 1本税込80円～



委託販売事業者さま募集中!

ご清聴ありがとうございました



藤枝市上水道マスコットキャラクター 管太くん！